



映画

クレヨンしんちゃん

嵐を呼ぶ
モーレツ!

オトナ帝国の逆襲



今回は、子ども向けでありながら、大人からも高い評価を受けている映画版アニメを紹介したい。本作は過去に留まることと未来に進むことの間で揺れる人間の思いを描いた映画である。『クレヨンしんちゃん』は「お下品」だからと、敬遠していた人にもお勧めしたい。

『クレヨンしんちゃん』は、幼稚園児の野原しんのすけ、その父ひろし、母みさえ、妹ひまわり、飼い犬シロと周囲の人々の生活を描いた漫画である。

映画は、20世紀後半に流行した懐かしの品々を扱う「20世紀博」というイベントの開催から始まる。大人はどんだのめり込み、子どもは置いてけぼりにされた。野原家もその例外ではなかった。

そしてある夜、「20世紀博からのお知らせ」と称したCMが流れる。しんのすけの両親はそれを見た途端、催眠術にかけられたように行動し、翌日他の大人と共にどこかへ運ばれていった。そして取

り残された子どもたちも、謎の組織「イエスタデイ・ワンスモア」に捕まっていた。しんのすけたちを捕まえに来た隊員の中には両親もいたが、すでにしんのすけたちのことがわからなくなっていた。自分の両親、そして平穏な生活を取り戻すため、しんのすけは20世紀博へ踏み込む。

「イエスタデイ・ワンスモア」は、敵役ではあるが悪ではない。かつて夢見た「21世紀」に比べて現実はいま以上に醜いと感じ、大人の持つ「懐かしさ」を利用して、活気に溢れていた「20世紀」に日本を戻そうとしているのだ。

しんのすけたちは、自分が生まれ、生きてきたこの世界、そして未来を手放したくないと思っている。未来はどうなるかわからないが、かけがえの無い大切なものであると感じ、その破壊に立ち向かうのだ。その姿勢には、我々に訴えかけてくるものがある。

公開：2001年4月21日

原作：臼井儀人

監督・脚本：原恵一

『映画秘宝』2001年度

洋画・邦画部門第1位

DVD（バンダイビジュアル）

定価：3,990円

子どもは『クレヨンしんちゃん』として楽しむ。大人は、自分の生きてきた時代を思い起こす機会が得られる。大人と子どもの狭間にいる大学生は……どう感じるか、是非見てほしい。

「お、おい！ どこ行くんだ！」

「ちょっと21世紀まで～」

(VA)



トマトでがんたん

リゾット

もとま

⑨ 作り方

- 1 タマネギはみじん切りにし、トマトは1cm角ほどの大きさに切る。
- 2 フライパンに油を引き、弱火でタマネギを透き通るまで炒める。次にトマトを加え、混ぜながら加熱する。
- 3 適度に水気が飛んだらごはんを加えて混ぜる。塩コショウなどで味を調え、お好みでチーズを乗せて完成。

⑨ 材料(1人分)

ごはん	1杯分
トマト	大1個
タマネギ	1/4個
塩コショウ	適量
サラダ油	適量



⑨ アレンジ

トマトを入れるときにしめじやピーマンなど適当な具材を加えるとおいしい。

はみだし
すてーじ

占有。

(経・院 言葉)